

## 議会を傍聴して



二渡公民会  
徳留正男さん

激しい町議選を勝ち抜かれた、二〇人の選良の初議会を傍聴に行った。税務課の廊下から外に出て、階段を登り廊下を突き抜けて、屋上に登るような感じで行くと、そこに傍聴席の入り口がある。わかりづらく、窮屈な感じだ。

一般質問では、以前、傍聴したときと違い、質問者が執行部と対面する形に変わっていた。これは、大変、好感が持てる。ただ、新人議員の質問がなかったのには、少々がっかりした。初めての議会で遠慮されたのか、それとも先輩議員の、演説の要領を聞いてからと思われたのか

どうか定かではないが、挑戦者として、いかがかと思われた。

一方、ひな壇には、議長をはじめ、町四役、それに二〇人以上の課長さん方が、ずらりと並んでいるが、答弁するのは、ほとんど町長である。これも私にとっては、不思議に映る。町長が、一人で仕事をやるわけでは、ないはずだ。議員も、担当課長に答弁させるような、質問があってもいいのでは。そうでなければ、課長全員が議会に出席する必要もなさそうな気がする。

また、傍聴者席にも、大した人数はいなかった。今の時期、田植えで忙しいのだろうと、善意に解釈したのだが、議員を代表として、すべてを委ねたのであろうか。それでは、ないはずである。議会制民主主義は、住民の監視（傍聴・関心）機能が大切であることを考えながら、帰路についたところであった。

## あなたも議会を傍聴しませんか

町議会定例会は、3・6・9・12月に行われます。日程等は事前にお知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。



## 編集後記

霊峰「紫尾山」と母なる川「川内川」の流れは、悠久の歴史を見てきた。先輩諸議員の方々の活躍は歴然と輝き、雄大な宮之城町の形を力強く築かれました。

本町も平成十七年一月十一日、鶴田町・薩摩町との三町合併によって、新町としてのスタートすることになります。そのために、地域の特性を活かした産業振興・充実した福祉施策、学校・社会教育の充実策など、将来を見据えた基本計画を定めて、目標に向かって、前進していかなければなりません。我々二〇名の議員も、皆さん方と一緒に頑張って、大粒の汗をかきながら頑張ります。

ここに、議会だよりをお届けします。お気づきの点がありましたら、お知らせいただければ幸いです。